



寺家ふるさと村での虫取りの様子（青葉区寺家町）

- 農地の賃借料情報・事務処理状況 ● 県農林業施策並びに予算に関する要望 ● 農地利用状況調査の実施
- 農地転用許可の権限移譲 ● 農業委員会事務局からのお知らせ ● 農業委員紹介 ● 横浜市からのお知らせ
- 編集後記

農地法第52条に基づく農地の賃借料情報

10aあたりの賃借料(円)

		平均額	最高額	最低額
中央 農業委員会	田	12,100	24,000	4,100
	畑	20,500	34,400	6,300
南西部 農業委員会	田	10,600	11,900	6,700
	畑	19,400	58,400	7,000

※平成27年度中に利用権設定を行った賃借をもとに算出。
100円未満は四捨五入。

平成27年度 事務処理状況

—受付件数並びに面積—

		耕作目的の 売買・賃借 3条許可	市街化調整 区域の転用 4・5条許可	市街化区域の 転用 4・5条届出	相続税納税 猶予・適格者 証明(入口)	相続税納税猶予・ 利用状況確認 (20年明け)
中央 農業委員会	件数	51件	73件	786件	20件	18件
	面積	51,185㎡	49,452㎡	313,395㎡	88,933㎡	98,192㎡
南西部 農業委員会	件数	14件	37件	525件	16件	11件
	面積	24,516㎡	33,971㎡	209,609㎡	117,686㎡	57,306㎡

※平成27年度中に開催された総会等での受付・報告件数及び面積。
小数点以下切捨て。

県農林業施策並びに予算に関する要望

両農業委員会で内容を検討した「平成29年度県農林業施策並びに予算に関する要望」は、5月9日に開催された農業委員会連合会理事会での審議を経て、24件の要望を連合会が神奈川県農業会議に提出しました。要望の一部は、さらに横浜市に対する要望として扱います。

また、「平成29年度税制改正要望」は、3月に両農業委員会から神奈川県農業会議に直接提出しました。

■ 主な要望 ■

- TPPについて、具体的な内容や影響を広く国民に説明・周知をすること。
- 農業委員会法の改正に伴う新制度への円滑な移行に向け、市町村農業委員会への指導・支援を強化すること。
- 都市農業を守るための農地の保全策及び、担い手の確保・育成を図る施策を充実させること。
- 遊休農地の発生防止や有効活用を図るため、農地の賃借に対するより積極的な政策や支援制度を発足させること。

平成28年度農地利用状況調査を実施します

農地法第30条の規定に基づき、農業委員会では遊休農地（耕作放棄地）の解消に向けて、農地の利用状況調査を実施しています。農地として利用されていない遊休農地に対しては、耕作の再開や農地の貸付等の指導を行っています。

今年度は例年より早い6月～11月に管内全農地の調査を実施します。調査の際、農家の皆様の農地に立ち入る場合がございますので、ご協力をお願いします。併せて、この機会に作付、耕うん、草刈りなど耕作地の管理徹底をお願いします。

農地転用許可の権限が横浜市に移譲されます

国や県が扱う市街化調整区域の農地転用について、許可権限が横浜市に移譲されることが6月1日に決定しました。本市では11月1日からの運用開始に向け準備を進めています。

転用許可申請の受付はこれまでと変わらず、2つの農業委員会の窓口で扱います（詳細は今後窓口やホームページ等でお知らせします）。

問合せ 環境創造局農政推進課 ☎045-671-2631

農業委員会事務局からのお知らせ

中央農業委員会

事務局 事務長 **新任** 浦野寛充

事務局 農地係長 小高英明

南西部農業委員会

事務局 事務長 **新任** 水谷誠

事務局 農地係長 岡野鳴穂



農業委員紹介

このコーナーでは、全委員を順に御紹介していきます。

凡例 **委員会名** 氏名
担当地区

中央 志田 喜一

中里（青葉区）地区

青葉区の北部を担当しています。就農して30年余り、露地野菜等を中心に直売もしてきました。

担当地区は、多種多様な作物が生産され、特に鶴見川流域は、浜なし栽培が盛んで庭先販売と宅配便等での発送が行われている地区です。

近年、都市化が進む中で農業経営維持と後継者の育成等の課題が山積しています。

地域の農業発展のため頑張っていきたいと思います。



中央 河田 良次

港北（港北区）地区

担当するエリアは、師岡町とその近隣の地区です。現在、農業委員会の農政部会に所属しています。私が担当する地区でも農家の高齢化が進み、後継者不足、税金対策等の相談も多々あり、その対応にも苦労しています。

今後も農家の悩みに対して耳を傾けて、微力ではありますが皆さまのお役に立つよう、問題解決の為に努力したいと思います。



中央 島村 政治

港北（港北区）地区

私は、日吉・綱島の地域を担当しています。東横線沿線の地域ということで、早くから宅地化が進み、農地も貴重な存在になりつつあり、農業経営は厳しい環境下に置かれています。

農地の保全や、全国的にも問題となっている後継者不足の問題等、様々な課題がありますが、農業の発展のため、努力してまいります。



中央 三枝 浜太郎

神奈川（神奈川区）地区

横浜は、早くから都市農業を理解し、農のある街づくりをしてきましたが、農地からの収益が少なく維持するのが難しい状況です。

市民に農業の現状を伝え、農業所得増に協力が得られるよう努力します。

また、農家だからできる地域の伝統行事を近隣の子供達に教えたり、自宅の庭を利用し地域の防災訓練等もしています。



中央 高橋 武

中里（青葉区）地区

中里地区の鉄町、寺家町、鴨志田、成合を担当しています。兼業農家でしたが、定年退職後は農業を専業でやっています。

担当地区は梨畑と野菜畑が点在しておりますが、現地立ち会いの際には、荒地や違法建物をいくつか発見しました。また、高齢の農家が増え大変なことも多くありますが、これからも地域の皆さまと一緒に頑張っていきたいと思います。



南西部 岡本 浩明

磯子（磯子区）地区

私は氷取沢農業専用地区で露地野菜、半促成トマト等を生産しています。直売で消費者とふれ合いつつ、学校給食向けの野菜供給や環境学習農園での食育活動なども行うようになり、就農10年目を迎えました。

まだまだ未熟ですが、農業委員活動や食育活動等を通じて都市農業の発展と次世代への橋渡しの一助ができれば幸いです。



南西部 近藤 節夫

和泉（泉区）地区

和泉地区を担当しています。市民意識調査によると、地産地消や安心・安全な食への関心を示す意見、都市農地を保全すべきだとする意見が約8割に至っています。

都市農業振興基本計画が閣議決定されました。農地の税負担を軽減する考え、TPP、農協法改正などへの関心が高まる社会情勢の中、やりがいのある農家を推し進める農業委員として、微力ですが活動していきたいと思います。



南西部 川邊 高義

大正（戸塚区）地区

大正地区を担当しています。農業委員になって3年目となります。

農業委員会で審議するさまざまな議案の現地調査などを通して、農業委員会で学んだ事を地区に持ち帰り、少しでも皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思います。

今後ともよろしくお願ひします。



人・農地プランについて

地域の農業の課題を解決するため、人・農地プランに位置づけを希望する方を募集しています。特に今後、経営の規模を拡大したい方や農地を貸したい方は、プランに位置づけられることで円滑な農地の貸し借りが促進されます。

受付期間：平成28年8月1日～8月31日

プランに中心的な経営体として位置づけられた経営体で一定の要件を満たした方は、下記の支援制度を受けられる場合があります。

主な支援制度		
名称	スーパーL資金の金利負担軽減措置 農業用機械等の導入支援	青年就農給付金（経営開始型）
問合せ	環境創造局農業振興課 ☎045-671-2637	環境創造局農政推進課 ☎045-671-2630

人・農地プランに関する問合せ

北部農政事務所（鶴見区・神奈川区・保土ケ谷区・旭区・港北区・緑区・青葉区・都筑区）
☎045-948-2480（法人の方は☎045-948-2477）

南部農政事務所（西区・中区・南区・港南区・磯子区・金沢区・戸塚区・栄区・泉区・瀬谷区）
☎045-866-8491

豪雨による耕作土の流出対策を！

突発的な豪雨は、耕作に支障をきたすだけでなく貴重な耕作土を流出させ、その結果、道路や近隣宅地の浸水や道路交通の阻害といった甚大な被害をもたらすことがあります。流出した土砂によって、住宅、道路等の損傷やけが人が出た場合、土地所有者にその負担が求められる場合もあります。日頃から、耕作土が流出しないような対策を心がけ、被害防止に備えましょう。

《対策の一例》

- ・土のうを積む（特に法肩・馬入れ部分）
- ・土留め板の設置（写真1）・畑の際まで耕うんしない
- ・定期的な排水溝の清掃
- ・畑の法肩や法尻に土を溜める溝を掘る（写真2）
- ・畑の法面や溝の上にサツキ、ツツジ、リュウノヒゲなどを植える



写真1 イメージ



写真2 イメージ

問合せ 北部農政事務所（鶴見区・神奈川区・保土ケ谷区・旭区・港北区・緑区・青葉区・都筑区）
☎045-948-2480
南部農政事務所（西区・中区・南区・港南区・磯子区・金沢区・戸塚区・栄区・泉区・瀬谷区）
☎045-866-8493

第33回全国都市緑化よこはまフェア

2017年3月25日(土)～6月4日(日)開催



Garden Necklace
YOKOHAMA 2017



みなとガーデン 山下公園や港の見える丘公園など
里山ガーデン 横浜動物の森公園植物公園予定地（よこはま動物園ズーラシアに隣接）

問合せ：環境創造局 全国都市緑化フェア推進課／☎ 045-671-3789

編集後記

暑い日差しが降り注ぐ季節を迎え、異常気象が心配される昨今、天候が気になるところです。また熱中症等により救急車で搬送される子どもや高齢者のニュースが多くなります。皆様も十分な休養と適切な水分補給を行い、万全な熱中症対策をしながら、安全に農作業に従事してください。